

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
平成11年12月27日 第39報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体系数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanizomenon sp.*</i>	10		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	60		
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	10		
(黄鞭) <i>Chromulina sp.</i>	10		
(黄鞭) <i>Synura petersenii</i>	30		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	300		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	30		
(珪) <i>Synedra acus</i>	6		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	240		
(珪) <i>Nitzschia sp.</i>	10		
(褐) <i>Rhodomonas lens</i>	40		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	200		
(み) <i>Trachelomonas oblonga</i>	10		
(緑) <i>Chlamydomonas sp.</i>	10		
(緑) <i>Oocystis solitaria</i>	40		
(緑) <i>Closterium aciculare var. subpronum</i>	3		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	60		
(他) <i>Tetraselmis cordiformis</i>	10		
(他) その他の植物プランクトン	10		
(藍) 藍藻綱	10	0.9	2.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	110	10.1	2.5
(珪) 珪藻綱	586	53.8	7.9
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	240	22.0	1.9
(み) みどり虫藻綱	10	0.9	0.0
(緑) 緑藻綱	113	10.4	82.3
(他) その他のプランクトン	20	1.8	3.3
総 細 胞 数	1089	総体積	2.4E+06
種 類 数	19	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体系数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

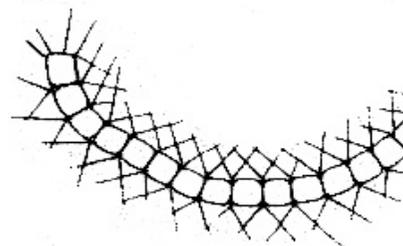
動物プランクトン

第 1 優 占 種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Polyarthra vulgaris</i>	1000

第 2 優 占 種	個体数 (個体/l)
繊毛虫類 <i>Tintinnopsis cratera</i>	220

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

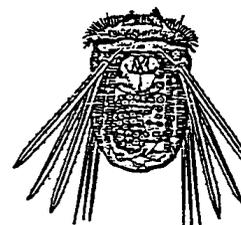
植物プランクトン第1優占種



Cyclotella glomerata
(ヒメマルケイソウ)
珪藻類

殻面は円形で、その直径は4~10 μm と小さい。
多数が鎖状に結合して群体をなす。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris
(ハネウデワムシ)
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。
前部に2本の触角がある。

コメント:

珪藻のキクロテラ・グラメラータは太鼓形の細胞が縦につながって群体を作る種で、南湖で冬期から春先に多く見られる。細胞数では本種が優占であるが、占有体積比率では相変わらず緑藻のスタウラストルムが80%以上を占めている。通常は秋から冬にかけて水温の低下に伴い、緑藻から珪藻へと構成種が推移するが、今回は水温低下が緩やかなこともあって、その変移期が例年よりも1ヶ月程度遅い。